

20 年間にわたって国際音楽祭ヤング・プラハはチェコの首都プラハを中心に毎夏行われた。このたび日本とチェコの実行委員会に外務大臣表彰が授与されることになった。今年度をもって退任される代表の中島良史氏の功績は大きい。企画からプログラミング、音楽的コーチから時には旅行のお世話まで、そして日本側の企業からの寄付募集まで。中島先生の忍耐強い意志なくしてこの仕事はなしえなかったといえよう。

同時にチェコサイドの事務局の皆様、支えて下さったファンの方々、そしてチェコ駐在の歴代の日本大使の方々のご協力・ご支援なくして、この長い間のプロジェクトは続かなかったという思いが一杯で、皆様方へ心から御礼と御協力への感謝の気持ちで一杯である。

ドヴォジャーク、ヤナチェック、スメタナはじめ多くの作曲家が生まれ、モーツァルトが滞在して作曲するなど、チェコ国内をそぞろ歩くことで音楽史そのものをひもとくことが出来る国、その作品を生んだ教会やお城そして素晴らしいコンサートホールなど歴史ある

建物の中での演奏の体験は若い人にとってクラシック音楽の生まれた原点にいる経験をしたと思う。

私も多くの若い音楽家を実行委員として推選してきたが、バイオリンの神尾真由子さん、ピアノの佐藤彦大君の演奏をプラハで聴き大変感動した。チェコのなかで演奏した人は 90 名、合唱団員は 800 名にのぼる。初めてヨーロッパの地で演奏するチャンスを与えられることによって音楽家、演奏家としての自覚とよこびを感じたことはいうまでもない。

今後も、会長としてこの任務をつづけさせていただけることは、望外のよろこびであり、今後共日本とチェコの文化交流に少しでも役立ちたいと願っている。



会場風景



ドヴォジャークホール



活躍する OB イジー・パールタ氏



ワルトシュタイン宮殿

ヤング・プラハは昨年多くのご支援を得てあの大震災を克服し、創立 20 年の音楽祭を東京とプラハで盛大に終えることが出来、来たる第 21 回ヤング・プラハで新たな歴史の 1 ページを開きます。1992 年にヤング・プラハが発足した時、私を含め両国実行委員会はこの教育的で非営利の音楽祭のこれほどまでの発展・継続を想像しえたでしょうか？事実 2002 年のチェコ大洪水や度重なる経済恐慌による中止の危機を乗り越えられたのはまさに“奇跡”といっても過言ではありません。ひたすら“若者のために”という純粋なテーマの“手作り音楽祭”を献身的に支えて下さった日本チェコ両国の多くの協力者、理解あるスポンサー企業のご支援の賜物と改めて感謝申し上げます。

そしてこのほど日本国政府からヤング・プラハ 20 年の国際文化交流の成果に対して、両国実行委員会へ「外務大臣表彰」の栄誉を頂きました。9 月にプラハの日本大使公邸で授賞式がございます。創立時から携わってきた唯一の実行委員として、私は 20 年の間にヤング・プラハに関わった全ての方々と、また今までヤング・プラハに招かれ、いまや一流の音楽家として活動している、35 カ国の演奏家たち、合唱、オーケストラを含めて 1 千数百人の全てのヤング・プラハ参加の若者たちと、この受章の喜びを分かち合いたいと思います。

そして次代を担う音楽家たちから、音楽祭の未来永劫の継続のため新たなパワーを頂けることを願って止みません。この「栄誉」をヤング・プラハを育て頂き今は天国にあらせられる L. コステツキー先生、J. スーク先生、そして創立にご参加され大変お世話になった佐川吉男元チェコ協会会長も喜んで下さるに違いありません。先生方に私たちの感謝の心が届きますよう…。

さて創立以来勤めさせていただいた「日本代表」をこのほどの「表彰」を機に辞することにいたします。育てたわが子を手放すようでしばらく悩みましたが、諸般の事情により潔く退く決心をした次第です。ヤング・プラハの運営にエネルギーを費やした 20 年は私の人生に得がたい経験を作ってくれました。社会主義を脱却したばかりで経済システムに疎いチェコの方々には予算書、決算書の作り方さえも指導し、開催後に赤字が出れば負わざるをえないことも幾度か。中島ならぬ「赤字魔」と自らを茶化したり…楽しい事、苦勞した事、



お世話になっているヤンとアンナ

チェコのホープの二人
ヤムニークと宮田 両君

いろいろ思い起こします。

もともとは名指揮者故ズデニェク・コシュラー氏に憧れ、1977 年にチェコ・スロヴァキアの給費試験を有力な推薦状を携え受けましたが何故か（氏が反体制だった？）叶えられず、いつしかチェコへの憧憬が薄れてきた頃、ビロード革命の自由の息吹溢れるプラハからの誘いに飛びつくように音楽祭の創立に参加したわけです。コシュラー氏にも実行委員に名を連ねて頂きました。3 年目に旧体制派のチェコ実行委員長が追放され、巨匠スメタナ・カルテットの Kostetzký 先生に怖いもの知らずに近づき、強引に口説き落としてチェコ代表にご就任頂きました。当時はメールなど無く毎日のように Fax での交信、時差で明け方の電話で寝不足は懐かしい思い出です。しかし何とか続けるうち、毎年訪れる各国の若者たちが音楽の都プラハに浸り、喜びに溢れたその表情を見るにつけ、また来年も！と辛い資金集めの苦勞も忘れて続けいつしか 20 年。その発展は前号の会報の 20 冊のプログラムの表紙が物語ります。チェコ関連の活動はヤング・プラハの本祭のみならず、国内における関連の行事のプロデュース、強制収容所のテレジン市との音楽交流、チェコ音楽の広汎な紹介など、若い音楽家に広い認識を提供できたと自負をしております。そして何よりも 20 年間に出会えたキラ星のごとく輝く才能たちは、今や私の若く素晴らしい音楽仲間。ヤング・プラハで得たかけがえの無い財産です。

その仲間たちが嬉しいことに来る 10 月 30 日（火）に渋谷のさくらホールで「表彰」と「退任」記念のガラコンサートを企画してくれました。20 数名が（ヨーロッパからも）馳せ参じてくれます。とはいえ超多忙な彼らですから、結局はいつものように私がマネージメントを仰せ付かるわけですが…でも楽しい仕事です。是非沢山の皆さんにはご来場いただき、ヤング・プラハのスターたちの素晴らしい競演をお聴きいただきたいと思います。

最後になりましたが、20 年間でヴォランティアで支えて下さった実行委員各位をはじめ、元在チェコ大使の先生方、事務局の皆様、そしてもちろんチェコの委員会各氏に深く感謝いたします。ヤング・プラハは後継の方々によってますます発展を遂げることでしょう。ビロード革命から既に 23 年。目覚ましい経済発展を遂げたチェコの実行委員会にはより自主的な努力を期待します。先日在日チェコ大使にお会いし、チェコの公的な一層の協力をお約束いただきました。皆様におかれましてもヤング・プラハへの変らぬご支援を賜りますようお願い致します。

長らくの公私にわたるご愛顧に感謝申し上げ、代表退任のご報告といたします。

2012 年 7 月 31 日
国際音楽祭ヤング・プラハ前日本代表
中島良史

今年は9月4日～9月17日にわたって、プラハとチェコ各都市等で演奏会が開催されます。

チェコ、日本をはじめハンガリー、ポーランド、オーストリア、フランス、イタリアから出演者が招待されます。

コンサート・スケジュール

9/4 プラハ (ワルトシュタイン宮殿)

オープニングコンサート

- 岸本萌乃加 (バイオリン) など

9/5 バド・シャンドウ (ドイツ)

- Marie-Anna Bukacova (ピアノ)

- Mezes string quartet (弦楽四重奏)

9/9 プラハ (ブジェフノフ修道院)

- 9/5 日と同じプログラム

9/9 リトミシュル (城内ホール)

- 岸本萌乃加 (バイオリン)

- 中田 朝生 (ピアノ)

- Vaclav Macha (ピアノ)

9/10 テプリツェ (ヤナ・クシティテル教会)

9/10 リトメーグツェ (K.H.Machy 劇場)

- 9/9 リトミシュルと同じプログラム

9/11 プラハ (日本人学校)

- 岸本萌乃加 (バイオリン)

- Sophia Lamos (ヴォーカル)

- Pavel Mucha (ピアノ)

9/12 プラハ (アリアホテル Vrbatova 庭園)

- Belfiato Quintet (木管五重奏)

9/13 プラハ (カフェ ブラックスワン)

ジャズコンサート

- Sophia Lamos (ヴォーカル)

- Pavel Mucha (ピアノ)

9/14 ルチャニィ村 (マリア教会)

故コストツキー教授を偲ぶ

- Belfiato Quintet (木管五重奏)

9/17 プラハ (ドヴォルジャークホール)

ファイナルコンサート

- 中田朝生 (ピアノ)

- Walter Hofbauer (ドラムペット)

- Johannes Crosso (オーボエ)

- Kleanthe Russo (指揮)

- Chamber Philharmonic Orchestra
of South Bohemia



岸本萌乃加 (バイオリン)

1994年岡山県倉敷市生まれ。3歳よりスズキ・メソッドでヴァイオリンを始める。
'04、'05「佐渡裕とスーパーキッズオーケストラ 2期、3期」に選抜され参加する。

'05 第6回大阪国際音楽コンクール 弦楽器部門 Age-E 第2位。

'06 第7回大阪国際音楽コンクール 弦楽器部門 Age-J 第2位。

'08 第62回全日本学生音楽コンクール中学校の部 大阪大会第2位。

第10回日本演奏家コンクール中学の部 全国大会第1位。

'09 第63回全日本学生音楽コンクール高校の部 大阪大会第1位。

第11回日本演奏家コンクール高校の部 全国大会第1位。

'10 第20回日本クラシック音楽コンクールヴァイオリン部門高校の部第1位および
グランプリ。

'11 第3回 宗次エンジェルヴァイオリンコンクール 第3位及び聴衆賞。

第9回東京音楽コンクール弦楽器部門 第1位。

第5回横浜国際音楽コンクール弦楽器部門高校の部第1位およびジェラル・
ブルー賞およびグランプリ。

岡山フィルハーモニック管弦楽団と'04 ドボルザーク、'06 チャイコフスキーを、
'07 倉敷管弦楽団とメンデルスゾーン、'09 岡山交響楽団とメンデルスゾーンの
協奏曲を演奏。

'11 5月日本クラシック音楽コンクールガラコンサートにてチャイコフスキーヴァイ
オリン協奏曲を、

'12 1月 第9回東京音楽コンクール優勝者コンサートにて、東京フィルハーモニー
交響楽団とワックスマンの「カルメン幻想曲」を演奏する。

現在、東京藝術大学附属音楽高校3年在学中。澤和樹、ジェラル・ブルー各
氏に師事。

「NPO 法人イエローエンジェル」提供により、1831年製プレッセンダを貸与さ
れている。



中田 朝生 (ピアノ)

1995年兵庫県西宮市に生まれる。翌年イギリスに家族と共に渡英。

1998年、ピアノを始める。

'03 英国王立音楽大学ジュニア部入学、ダニエル・サラモンに師事。副科としてオーボエを
始める。

'05 EPTAベルギー国際ピアノコンクール (ジュニア部門) で1位。

'06 EPTAベルギー国際ピアノコンクール オープニング・コンサートに招かれる。

'06-'10 英国王立音楽大学ジュニア部にて イアン・ジョーンズに師事。

'07 英国マーロー国際コンチェルトコンクール (19歳以下部門) において1位優勝。

ロンドン、カドガンホールにて、HRHアレクサンドラ妃の御前で演奏。

ビショップスゲートにて、ランチタイムコンサートを開催。

ウェールズ、'ヤング・アーティスト リサイタル' にてリサイタルを開く。

'08 マーロー国際コンチェルトコンクール (19歳以下部門) で再度1位優勝。

ジャック・サミュエル主催コンクール受賞者として、再度ウィグモアホールにて演奏。

ウェールズ 'ヤング・アーティスト リサイタル' に再度招かれリサイタルを開く。

'09 ドイツ、ワイマールにて、第2回フランツ・リスト国際ピアノコンクール (ジュニア部門)
で1位、併せてリスト賞も獲得。

'10 ヨーロッパ・ベートーヴェン協会主催のコンクール (ジュニア部門) で1位、併せて
聴衆賞も獲得。

英国王立音楽大学を離れ、ベンジャミン・カプランに師事。

ロンドン・ピカデリーのセント・ジェームス教会にてランチタイムコンサートを開く。

'11 ドイツ、ワイマール第3回フランツ・リスト国際ピアノコンクールのオープニング・
コンサートに招かれる。

ロンドンにてフィンチリーチェンバーオーケストラと、グリーグピアノ協奏曲 Op.16
イ短調を協演。

ロンドン・ジェントルマン・クラブにてリサイタルに招かれる。

'12 タチアナ・サキソヴァに師事、現在に至る。



【事務局通信】



これまでヤングプラハを生み育ててこられた中島良史代表が20周年を区切りに退任されることとなりました。氏のご奮闘なくしてこの音楽祭が20年の長きにわたり継続することはありえませんでした。日本実行委員会は中島代表の20年間に渡るご尽力に対し、心からの敬意を表し「名誉代表」の称号を差し上げ、氏の功績をヤングプラハの歴史に刻みたいと思います。永い間、本当にご苦労様でした。新体制は岩崎淑氏が会長に就任し、次の20年に踏み出すこの音楽祭の指導に当たられます。皆様のご支援をお願い申し上げます。

また会長挨拶、前代表挨拶にありますように国際音楽祭ヤングプラハは平成24年度外務大臣表彰の栄誉に浴することとなりました。日本との二国間の友好親善関係の強化・深化に長きにわたり大きく寄与したことが評価されたものです。皆様の永年に渡るご支援があって初めて可能なことと心から御礼申し上げ、喜びを共にいたしたく存じます。

連絡先：

住所：〒244-0081 神奈川県横浜市戸塚区品濃町 558-1-102

電話：090-5773-3122 安東 080-4330-5211 橋本

FAX：04-2994-2466

Email：office@youngpraha.jp

http://www.youngpraha.jp/

ヤング・プラハ・フレンズのご案内

「ヤング・プラハ・フレンズ」は国際音楽祭ヤング・プラハの活動を通して若い優秀な演奏家の成長を支援しています。ヤング・プラハを経験した若い演奏家たちは、ヴァイオリンの神尾真由子(2001年参加)、ピアノの上原彩子(2002年参加)、ピアノのジュゼッペ・アンダローロ(2005年参加)、チェロの宮田大(2011年参加)をはじめ、世界の名だたるコンクールでも活躍し、ヤング・プラハでの経験を糧にますます芸術の高みを目指しています。

フレンズの種類	年会費(1~12月)
個人会員	一口 10,000円
家族会員(個人会員のご家族)	一口 5,000円
法人会員	一口 30,000円
特別会員 (ヤング・プラハ出演者 出演から5年間)	3,000円以上 (但し初年度無料)

音楽祭は非営利団体として日本・チェコ両国の企業メセナと文化庁の支援、そして実行委員の献身的努力によって運営され、1992年より1年も休まずに続けてまいりました。この意義ある音楽祭の持続的な発展のために、フレンズの皆様には引き続き暖かいご支援を賜りたく、本年度の継続をお願い申し上げます。また、お知り合いの方々にもご入会をお誘いいただければ幸いです。ご入会はホームページからもお申し込みいただけます。

お問い合わせは上記の連絡先をお願いします。

